

まえがき

働かせるのではなく、 働きにくい原因を、取り除く。

「どうしたら部下をイキイキ働かせることができますか」という質問をよく受けます。この質問には、「部下はもともとイキイキとは働かないものである」という発想が根底にあります。

それは違います。

部下は、ほうっておいても、イキイキと働くものです。

これは、「競馬の馬は、どのようにムチを当てれば走りますか」という質問と同じです。

馬はほうっておいても走ります。

すぐれた騎手は、第4コーナーまで馬がエネルギーを消耗しないように、走るのを

抑えています。

第4コーナーまでにムチを入れている騎手は、馬の扱い方を間違っています。

「馬は走らないものだ」と思っているのです。

馬は、走るのが習性です。

部下も、イキイキ働く習性を持っています。

部下をイキイキ働かせるには、ムダなエネルギーを消耗させないことです。

第4コーナーからゴールにかけてエネルギーを使えるように、エネルギーを温存させ、ムダな疲労をさせないようにするのがいいのです。

第4コーナーに入った時、働きにくくしている障害を取り除いてあげます。

働く原因をつくるではありません。

上司の仕事は、部下を働かせることだと勘違いしている人がいます。

優秀な部下は、上司がいなくても勝手に働きます。

部下をもっとイキイキ働かせるために、そが阻害している原因を上司が取り除いてあげることです。

イキイキ働きたくても、会社の中には障害がいっぱいあります。

どんなに高性能で走る車でも、道に木が倒れていたり、石がゴロゴロしていたら、走れません。

上司は、障害になる木や石のようなヘンな規制を取り除いてあげるので。

世の中全体の流れが、規制緩和に向かっています。

規制をつくること、ルール、マニュアルをつくることで部下をイキイキさせることはできません。

「規制やルールがなければ部下はイキイキ働かない」と考えている上司は、部下を弱者と考えているのでしよう。

でも、部下は弱者ではありません。

上司よりすぐれた部下もたくさん生まれています。

上司よりすぐれた部下が入ってくる会社が、イキイキした会社です。

せっかく上司よりすぐれた部下が入っているのですから、部下を働きにくくしている状況を、働きやすい環境にしてあげればいいのです。

スポーツの世界でも、コーチの仕事は、選手がいい結果を出すための環境を整えてあげることです。

ムチを打つことではありません。

アメでもムチでもありません。

アメとムチの議論は、相手を弱者と考えている時に出てきます。

相手を自分より下と考えている時に、アメとムチの使い分けが始まるのです。

靴の中に石があれば、それを取り除いて、もっと速く走れるようにしてあげるのが、上司の仕事です。

組織を活性化
するために

その①

働きにくい原因を、
取り除いてあげよう。